

南京都病院ニュース

2016 春号
No.42

National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News

梅と桜、青谷と

院長 宮野前 健



風の通り道、城陽の青谷川の流れて沿って療養所は静かに、また厳しい時が流れてきました。結核が若者の命を奪う国民病として恐れられていた時代、昭和 14 年傷痍軍人結核療養所としてこの地に当院は誕生して、結核医療 77 年の歴史を刻んで来ました。“最盛期”には結核病床だけで 800 床、多くの患者さんたちが当院で療養生活を送りました。昭和 30 年代に入りイソニアジドやリファンピシンなど有効な抗結核薬が登場し、社会環境の改善と相まって結核患者の減少をもたらしました。その結核医療の後継医療として、当院では昭和 40 年代から肺疾患に関連した幅広い呼吸器疾患、重症心身障害医療、小児慢性疾患と神経難病を取り入れて今日に至っています。

現在の敷地面積は 4 万坪、自然に恵まれた環境にあります。野ウサギやタヌキなどの小動物、最近はまだ見かけませんがイノシシやおサルさんも出没します。数年前には深夜“クマが出た”との情報が流れましたが、どうもイノシシであったようです（保健所に問い合わせたら、この地域にはクマは生息していないとの事、しかしその後「クマよけ」として、何故かモップが数か所の街灯にぶら下がるようになり。）

早春にはウメにウグイス、4 月にはサクラが咲き誇り、タケノコも顔をみせます。去年 4 月上旬ピンクの花を目印に敷地内の桜の本数を数えて回ったところ、“城陽市の木”に指定されたヒガンザクラを始め合わせて 72 本ありました。敷地面積にすれば決して多くはありませんが、307 号線沿いの駐車場に植えられた桜は、四半世紀前僕が赴任した当時にはヒョロッとした若木でしたが、今はトラックの通行の邪魔になるほど枝を張るまでに成長しています。また青谷の里は、古く和歌にも詠まれた梅林に囲まれており、療養生活を送った方々にとって、この自然に恵まれた青谷の里で季節の移ろいを感じ、気持ちが和んだのではと想像しています。

当院は国立病院機構の一員として再編成されて 12 年目を迎えます。日本は厳しい経済状況と少子高齢化を迎え、その変化に対応した病院運営が必要です。一日一日は変化がないように感じますが、自然と同じように確実に底流は変化しています。その流れを見誤らないよう、スタッフの皆さんと思いを一つにして当院の役割を果たしていければと考えています。

世の中は変わっていきますが、青谷のこの自然は残ります。敷地内を梅の香で満たしたいと思うこの頃です（本音は、その実で梅酒、梅干しを作りたい）。

教育研修委員会の一年間の活動

教育研修委員会 副委員長 角 謙介
白井 智子

この一年間の教育研修委員会の活動を振り返ってみます。

大きな柱となったのは、院内教育研修・院内呼吸療法認定士の認定・レポートミーティング開催の3つです。

院内教育研修は、今年度から循環器領域を新しく新設し、国立循環器病研究センターの心臓血管内科の野口部長をお招きし、不整脈をはじめとした4つのテーマで講演をいただきました。心電図の読み方を、心臓の動きと合わせて詳しく説明いただき、スタッフの満足も得られたのではと考えています。当院でも時々見かける波形・症状であるけど、何となく遠く感じる循環器が身近に感じられたのではないのでしょうか。次年度も継続して研修を計画しています。



また神経内科領域では、住友病院の副院長先生と宇多野病院の院長先生という、神経内科領域の超一流の両先生の特別講演も計画しています。どんどん最新情報を知識として取り入れ、スタッフのスキルアップが図れるよう支援を考えています。

今年の最大のトピックスとして挙げられるのは、院内呼吸療法認定士の誕生です。

第1期として13名、第2期10名と総勢23名が、3学会合同呼吸療法認定士試験に合格し、且つ院内の認定基準を満たしたため、院内呼吸療法認定士として認定されました。今後の南京都病院の呼吸器看護・呼吸療法を牽引し、専門的知識・技術を発揮して、後に続く後輩を育成してくれることを期待しています。



毎年恒例のレポートミーティングも、今年度47演題の応募がありました。口演・ポスターと発表スタイルは違いますが、精一杯この1年の活動を発表して頂ければ主催する側もやり甲斐を感じられるところです。さて、最優秀賞としての病院長賞はどこのどなたが獲得するのか、今から楽しみです。



平成28年度も当院の医療・看護の充実、および地域の皆様への情報発信に繋がるよう努力していく所存です。教育研修部の活動にこれからもご期待ください！

地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

ホームドクターとして幅広い診療を心がけています

かみほぎ 医院

内科・胃腸科・放射線科

院長 上南木 洋一 先生

当院はJR奈良線山城青谷駅から徒歩3分のところにある交通至便なクリニックです。

ホームドクターとして、在宅医療（往診、訪問診療、訪問看護）も含めた幅広い診療を心がけています。

病診連携により患者様に有益な情報が蓄積されることは、大変有意義と考えています。



- 京都府城陽市市辺小梨間31-10
- TEL-FAX 0774(55)1937

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	×	○	○	○	×
午後 6:00~8:30	○	○	○	○	○	×	×

- 休診日 日・祝、水の午前・土の午後



よりそって看護 よりそってケア

栄仁会 訪問看護ステーション おうばく 訪問看護



- 宇治市五ヶ庄三番割32-1
- TEL 0774-31-6464
- FAX 0774-31-6528
- 営業日・営業時間
月～金 午前9:00～午後5:30
※(24時間緊急対応可能)



当事業所は、医療法人栄仁会の外部事業所として、「よりそって看護 よりそってケア」を理念に、サービスを提供しています。ステーションの所在は、おうばく病院内にありますが、地域の先生方からもご支援を頂き、一般医療や難病、介護部門も提供させて頂いています。現在看護師10名・作業療法士2名で、比較的大きな事業所として、宇治・城陽・伏見・山科を中心に広範囲に展開しています。

訪問看護では、退院直後で不安や困った事でどうにかしたい、病気とうまく付き合いながら生活したい、生活のリズムを整えたい、などの様々な御相談・ご要望にお応えしております。また、作業療法士によるリハビリ、精神疾患の症状の緩和治療なども行い、地域で安心して暮らして頂けるよう、「よりそって看護」を合言葉に取り組んでいます。

お陰様でご利用者様の方々からは、暖かいお声掛けを頂いており、今後も充実した訪問看護ができるよう、ご支援・ご指導を宜しくお願い致します。

認知症について

臨床研究部長 川村 和之

物忘れが気になり始めて、皆さんが「認知症になったのではないかと心配して医療機関を受診されることから、認知症の診療は始まります。認知症の中ではアルツハイマー病や脳血管性認知症がよく知られていますが、気になる物忘れが加齢に伴う生理的な記憶力低下の場合もあります。その他、脳外科疾患、内分泌異常、ビタミン欠乏、薬の副作用など認知症を来す原因は多岐にわたります。

認知症診療では、神経学的診察と検査を通してこれらの可能性のうち何が物忘れの原因であるかを明らかにしていきます。検査としては血液検査、頭部MRI検査、脳血流シンチなどを患者様の症状にあわせておこなうことが一般的です。その中でも、近年、頭部MRI検査の重要性が増しています。



南京都病院で頭部MRI検査を行うと…

認知症の疑いがあればMRIを行います。胸部の疾患でも頭部のMRIを検査する場合があります。この時にちょっと時間は長く(約6分程度)なりますが**VSRAD**を追加すると認知症のリスクが判ります。

VSRADとは早期アルツハイマー型認知症の診断を支援するためのソフトで、通常MRI検査に6分間の精密撮像を追加し、海馬領域を中心に脳の委縮程度を統計的に計算し数値化するものです。

MRAは造影剤を使わないで脳の血管の状態がわかるものです。他の病院では通常MRAとVSRADをそれぞれ別日に検査しますが、南京都病院なら同じ日に撮影でき、**費用の追加負担もありません。**

この**2つの検査**を行うと…

脳血管障害や認知症の有無とアルツハイマー型かレビー小体型かの判断の助けになります。

認知症治療は、より早期に発見することにより、治療効果を期待することができるといわれています。

もし、異常が見つかった場合は、当院の**神経内科**が対応します。

物忘れが気になる…**そんなあなた!**

一度、検査を受けてみませんか。



パンフレット説明は医事課前にあります。詳細は放射線科までお問い合わせ下さい。

新人看護師紹介

教育担当看護師長 金田 淳子

平成28年度採用の新人看護師です。4月1日に辞令を受け、新採用者研修がスタートし、看護師としての第一歩を踏み出しました。

今年度は男性(6名)女性(12名)で、優しさと力強さを備えた期待の新人たちです。

「皆様、どうぞよろしくお願いいたします。」



交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

＊...各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- | | | |
|------------|--------------|-----------|
| ● 呼吸器科 | ● 神経内科 | ● 小児科 |
| ● 内科 | ● 外科 | ● 消化器科 |
| ● 呼吸器外科 | ● 循環器科 | ● 整形外科 |
| ● 皮膚科 | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科 |
| ● 麻酔科 | ● 歯科 | ● 耳鼻いんこう科 |
| (入院患者のみ対象) | (入院患者のみ対象) | (休診中) |

独立行政法人国立病院機構
南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原11番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療
連携室

- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線231)
- 直通FAX 0774-58-0270
- E-mail renkei@mkyoto.hosp.go.jp